

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |           |   |             |
|----------------|-----------|---|-------------|
| ○事業所名          | かえで★ずくーる  |   |             |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年2月10日 |   | ～ 令和7年3月10日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)    | 4 | (回答者数) 2    |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年2月10日 |   | ～ 令和7年3月10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)    | 4 | (回答者数) 4    |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 令和7年2月10日 |   | ～ 令和7年3月10日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数)    | 3 | (回答者数) 2    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月    |   |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること      | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                                |
|---|--|---|---|
| 1 | スタッフの専門性が高い(公認心理師、社会福祉士、元教員など)                   | 利用者の状況やニーズに合わせて適切なスタッフを訪問させる。場合によっては2人体制で訪問している。                        | この支援が必要かどうかも含めて、適切な支援を毎時間共有しながら進めていく          |
| 2 | とくに元教員がいるため、学校との連携ができ、学校から伝えにくいことを保護者様に伝えることができる | できる限り訪問先の代表と顔を合わせたり、職員との連携をすすめるようにしている。訪問先と保護者との関係性もみながら、保護者に伝えるようにしている | 意識的に訪問先との連携を図り、利用者のために保護者様に適切にお伝えできるようなスキルを磨く |
| 3 | この支援が必要かどうかを判断することができる。                          | 他の事業所で適切などころがあるかどうかも含めて常に考えている  | 計画相談員と常に連絡をとれる状態を確保していく                       |

|   | 事業所の弱み(※) だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等             | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-------------------------------|----------------------|
| 1 | 急な欠席連絡が非常に難しい                               | 親のほう子どもよりも先に仕事に行ってしまう、連絡が取れない | 訪問先からの連絡をもらえるようにする   |
| 2 |   |                               |                      |
| 3 |   |                               |                      |